

近年、大雨が降って全国各地で水の被害がたくさん出ています。川がはらんして気が付いたら逃げる場所とタイミングをのがし、家に取り残されてしまった人もいるとのことです。

私たちが住む岐阜市にも、長良川をはじめ、多くの川が流れています。身近な川がはらんしたとき、私たちは何をもとにどんな行動をとったらよいのでしょうか？

【警戒レベル、状況と住民がとるべき避難】

令和元年台風第19号等による災害を受けて、国では警戒レベルを5段階で示すようにしました。

また、レベルに応じて国民にどんな内容の情報が発信されるのかや災害の緊急度と避難の対象者やタイミングを表にまとめました。

※内閣府（防災担当）、避難情報に関するガイドライン、2021 抜粋

令和3年5月20日から  
避難指示で必ず避難  
避難勧告は廃止です

| 警戒レベル | 新たな避難情報等             | これまでの避難情報等               |
|-------|----------------------|--------------------------|
| 5     | 緊急安全確保※1             | 災害発生情報<br>(発生を察知したときに発令) |
| 4     | 避難指示※2               | ・避難指示(緊急)<br>・避難勧告       |
| 3     | 高齢者等避難※3             | 避難準備・<br>高齢者等避難開始        |
| 2     | 大雨・洪水・高潮注意報<br>(気象庁) | 大雨・洪水・高潮注意報<br>(気象庁)     |
| 1     | 早期注意情報<br>(気象庁)      | 早期注意情報<br>(気象庁)          |

※1 市町村が災害の状況を確認できるものではない等の理由から、警戒レベル5は必ず避難される段階ではなくなります。  
 ※2 避難指示はこれまでと同様に避難勧告の発令と併せて発令される場合があります。  
 ※3 警戒レベル3は、高齢者等の人も避難の対象となる場合があります。避難の準備が完了し、避難場所から避難するタイミングです。

警戒レベル5は、すでに安全な避難ができず命が危険な状況です。  
警戒レベル5緊急安全確保の発令を待ってはいけません！

避難勧告は廃止されます。これからは、警戒レベル4避難指示で危険な場所から全員避難しましょう。

避難に時間のかかる高齢者や障害のある人は、警戒レベル3高齢者等避難で危険な場所から避難しましょう。

内閣府（防災担当）・消防庁

【水位警報機をつくってみよう】自分の身に迫る危険を“音”と“光”でお知らせする。

自分の身に危険が迫っていることを知ることができる装置です。この装置の使用方法は、まず雨が降ると水がペットボトルに溜まっていき、ゆっくりとホースに流れていきます。ある程度溜まると注意のチャイムが鳴り、次に警報のアラームが鳴るようになっています。

